

資料1

多種多様な職場開拓（キャリアスペース）におけるニーズの想定数

そのうち、女性の相談者は…

東村山就職情報室の平成 28 年度新規相談者は 994 名であり、就職決定者は 400 名であった。（決定率 40.2%）  
 →就労決定していない人数は…  
 994 名－400 名＝**594 名**  
 となり、この方々はキャリアスペースに取り込むことができる可能性がある。

そのうち、シルバー世代の相談者は…

キャリアスペースでは、企業開拓を行い、ハローワーク等では、取扱いの少ない案件（時短、アルバイト、パート・ワークシェアなど）を中心に紹介・あっせんします。  
 また、同行支援や定着支援など寄り添い型で支援を実施します。  
 →ハローワークのすき間を埋める支援。

新規相談者 994 名のうち女性の割合が 57.7%となっている。  
 女性の相談者：994 名×57.7%≒573 名→就労の決定していない女性の相談者は…  
 573 名×（1-40.2%）≒**342 名**（最低限のニーズであると捉えることができる。）

+ 参考として…

※男女共同参画に関する市民意識調査報告書（H28.2）より

市内在住 20 歳以上の男女を対象→2000 配布 709 回答（女性：54.5%）  
 →709×54.5%≒386 名  
 女性が就業し続ける上での障害（女性からの回答）  
 1 位 子供を預けるところがない（保育園等）がない 68.8%（265 名）  
 2 位 育児休業（休暇）など、職場の条件・制度が不十分 62.3%（240 名）

↓  
職業紹介事業の企業開拓により解消が期待できる

新規相談者 994 名のうち 60 歳以上の割合が 19.9%となっている。  
 注）東村山就職情報室の統計が 60 歳以上という項目で取っているため、ここではその数字を利用  
 60 歳以上の相談者：994 名×19.9%≒197 名→就労の決定していない 60 歳以上の相談者は…  
 197 名×（1-40.2%）≒**117 名**（最低限のニーズであると捉えることができる。）

+ 参考として…

シルバー人材の会員数は、1,286 名（うち実際働くことが困難な方もいるが、就労可能な人数を確認することは困難なため、9割が就労可と仮定すると、1,286 名×90%≒1,157 名が就労可能）  
 就労実人数：1,020 名  
 →1,157 名－1,020 名＝**137 名**は、就労したくてもマッチングが不調に終わっている。  
 また、就労している 1,020 名の中にも『より働きたい』という意欲を持っている方が一定数いる。